

刊夕 日六十二月七



本日は... 石城郡... 農業... 稲作... 米作... 稲田の処置は深水第一

座講識常... アーグス、カメラは要... 地帯をのびる秘蔵の... 目的は使はれる寫眞機... のことである、出来る... だけ型を縮小させて装... 中にも容易に納められ... る様作製した豆寫眞機

安心のならぬ天候

米作は愈よ減収か

稲田の処置は深水第一

悪天候の連続二十日間に及ば... 稲田の処置は深水第一... 深水にして分蘖を押し成熟... を急がせる、冷気が此上... とせば出穂時期にも落水... 期を遅らせる事である、水... 稻の早いものは天候の割に... 成績がよいが遅いものには... 障りが多いと

和泉流の能狂言に

家元の野村師來平

日本一の大家を招く三派聯合

平町資生流能曲の同好者で成... 三派聯合の素流... 野村師來平... 日本一の大家を招く三派聯合... 會場は平第三小學校か

たもので會場を平館に當て、... 照會中、能狂言は古來... 俳優の踏んだ舞台に上らぬこ... とが傳統で自ら之を破り得ず... との態度を以て遺憾ながら望... みに懸かぬかと謝絶され主

八坂神社の例祭... 石城郡高久村の下高久鎮座八

悪天候と稲作

質疑應答

石城郡神谷村の中神谷では今... 二十六日午後七時から同郡落... の寺院に會合し今年の悪天候... 稲作の被害を調査し、今後の... 稲作の処置を協議する

茶種の第一回出荷

二千二百四十三俵

三等建値七圓四十一錢で取引

石城郡販賣聯合と郡農會の提... 携する茶種及び小麦の共同販... 賣は昨二十五日第一回の出荷... を行ひ全額有数の諸會社の競... 争入札に付されたが左記の數... 量に對し茶種は三等建値七圓... 四十一錢で茨城縣磯原の川崎... 製油(發送驛渡)へ小麦は同じ... く三等建値五圓二十五錢で日... 本製粉の依託商水戸山口藤太... 郎氏に落札した茶種は好相場... は石城産が他に比して優秀な... ことが漸く認められて來たも... のと云はれ小麦に於ては東部... 市場値に比し安値な方ではな... いがアメリカの大減収と我が... 國に於ても大した作柄でない... 本年としては若干安過ぎはせ... ぬかと見られてゐる

泉の農事座談會

質疑應答

石城郡泉村の下川農事實行組... 合では二十六日午後一時か... ら同地三戸良治方に全組合員... 集合し農事座談會を開いた

五百石の

貯穀解除

石城郡玉川村に於て農家の大... 半が飯米にも困つてゐるため... 貯穀の解除を申請されたこと

果實の出荷もだが

貨物の増減は茶種

天候不良で夏貨物甚だ動かず

平驛に於ける七月の貨物動態... は打續く天候不良で夏季諸雜... 貨の到發甚だ振はず上中旬の... 數字を上れば左記の如くで... 木材の多量なことは毎月の例... として米の到港に百二十噸を... 見せながら同發送の皆無は在... 米運を窺はれ次へて人造肥料... 類の百六十噸は畑作給肥の... 過剩確保安類が主なるもの其... の他は通じて例年の動きに劣... り兩旬收入漸く四千五百十二... 圓を算するものへ下旬の見込... み貨物として果實(桃)の出荷... が豫想通りでなければ六月收... 入の七千圓は容易であるまい... と唱ひられ但し茶種輸送の大... 量ものが本月中に動くかどうか... か之れが増減の鍵を握るもの... だと云はれてゐる

婦人會學校參觀

と産業座談會

石城郡神谷村の婦人會會員百五... 十名は来る二十八日午前全會... 員で小學校を參觀し午後から... 新舞子海岸に於て産業講話並... に座談會を開催する管であるが... 柴田郡技手、米山郡駐在技手... 縣農試分場から齊藤技師臨席... すると

米生産費の記帳

指導

石城郡草野村に於ける農林省... 嘱託の米生産費記帳は自作農... から永井忠太郎、金賀彦彦、... 砂糖六ト、中七〇ト、... 九噸、主なるもの木材一六... 噸

川魚の習性と

其漁法

石田警中教諭... ホ、天候氣象の激變による... もの、天候氣象が俄に變化する様... な時例へば降雨後俄かに好... い天氣になつたり、或は夕... 立が起つたりする、固より何... の爲めに跳躍するのであるか... は測り知ることが出来ませ

女混りの花賭博

夫から捜査願

平町三丁目五古物商茨城縣... 北相馬郡高野村の高野字根... 一七三生れ賭博前科二犯若田... 愛之助(方)方與座敷に於て昨... 二十五日午後十時半頃平町古... 鍛冶町四生れ當時月見町三三... ら平野へ捜査方を願出た

マネージャ伊東

の國際レヴュー

平町出身の伊東一氏がマネー... ジャで滿洲國各地の巡行に人... 氣を得る座長伊東まつ子の嬢... の國際レヴュー一行は來八... 月初旬地元平町に來演の管で... 準備中だが女嬢と藝妓のカク... テル陳は相當の見もの聞きも... のだらうと今から人氣を呼ん... である

居住歐志賀國之助

字田町三無鐵石城郡神谷村

司男四氏であるが同調査は米... 價高低の相場を立てる基本と... なるもので今二十六日米山郡... 駐技手出張記帳に關する指導... をなす

妻に逃げられて

夫から捜査願

平町大町四七居住双葉郡富岡... 町の字毛蓋一三渡邊久米五郎... (西)妻なる(西)は本月十三日... 午前十一時半所用と稱して歸... 宅せず同人の實家石城郡高久... 村の高久字上山へも照會所在... 捜査中であるが未だに不明の... ため今二十六日夫久米太郎か... ら平野へ捜査方を願出た

夜間燈火に對する特性

魚類の行動

魚類は夜間燈火に對する特性... 一部份へば船の如きは比較的... 敏感でありますが夫れでも尚... ぼ局部的であると申さなければ... なりません

(ハ)取(競)争

月刊いは新報主催平町後場... 後援の傳染病豫防取組等は... 今二十五日及び二十六日の二... 日間押した繩を受付けてゐるが... 本年は打續く涼氣のため精々... 十萬圓(昨年四十萬圓)位か... と云はれてゐる尚ほ競争参加... 者には抽籤を以て一等五圓の... 賞を贈る由

農 業

農 民 自 助 協 同 会 國 家 の 任 務

(十四) 内務省社会局
 代國家と國民の産業的活動との關係をかく解する、かゝる見地に立つ時に、農業に對する國家の任務と農民の責任との限界が自ら明らかせられると思ふ、以下項を改めて現下の農村の困難に際し國家は何を爲すべきや、農民は何を省察して見度か、

五、國家の任務 (一)
 農業者は其生物價格の下落その他の理由により、他産業者或は他職業群に比し不均衡な所得の減少に苦しんでゐるその事情は第一節に述べた、國民の過半を占め、國民食糧を確保し、最も堅實剛健なる素質を有し、國軍の重要任務に關する多數壯丁を出す農民が農村に於て生業に安んじて勤むことが出来ぬことは、國家にとりて甚だ憂ふべき事態と云はねばならぬ、これ故に農村生活を安定せしむる方策を講ずるは國家緊要の事務に屬する、昭和五年以降の農業恐慌に對して時局匡救のための農村諸對策を講じ、七年度より三ヶ年間に約六億圓の財政支出を決定し、昭和九年度計上豫算を前二ヶ年の支出額に合せると約五億圓となる、此の中には都市の匪救事業費をも含む、その他米穀の價格の維持のために米穀統制法を一層強化し、特別會計資金七億圓を更に八億五千萬圓に増額し、別に三億圓を用意する法案が此の議會に提出協賛され

た、匪救土木事業は、この事業によりて貧農者に勞働所得を獲せしめ、緊急事態を緩和する當面の目的とするが他より重要な意味は農村に於ける土木工事(道路橋梁の架設林道の開鑿、用耕水路の開發修理等々)を國家が助成し従來動もすれば等閑に付せられた此れ等公共施設を農村に實施して、産業文化施設の都鄙間の不均衡を是正せんとするにある、

パラソルと日傘

例年御定評を頂く当店特選の

優秀な新柄を豊富に取り揃へて

ツルヤ

淋病最新薬
美神淋薬
 一週分 四、五〇〇
 二週分 八、〇〇〇
 代理店
 平町店
山野邊薬局

債券 公債 両替 金融
多田井質店
 平町太工町
 電話五九一〇番

牛も豚も優良品の自慢
 肉の御 三三三屋 平町 田町
 用命は



油問屋 關内油店
 特約販賣
 日本 株式会社
 石油 株式会社
 ガソリン
 モビール油
 支店 平町市駅前通 電話長八二三
 支店 茨城県水戸市 電話長平七三
 支店 平町四丁目 電話長四三三
 油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

安價で効果的な 天然加里肥
 最も適應する作物!
 蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが 類
 瓜果類ではトマト 茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます
 天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壌を悪化する虞は絶対にありません
 一俵 参拾錢 (大量取引は特に割引致します)
 製造販賣 金成國雅
 平町藤田 電話六八八番
 貨物自動車への御用命に應じます

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
 (電話六四一)
 内科 院長 醫學博士 石山謙 郎
 副院長 醫學博士 賀一忠 郎
 小兒科 部長 醫學博士 賀一忠 郎
 婦人科 部長 醫學博士 五十嵐雄二
 産婦人科 部長 醫學博士 坂本眞一 郎
 外科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 皮膚科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 泌尿科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 性病科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 眼科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 耳鼻喉科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 物理療法科 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 衛生試験所 部長 醫學博士 山澤 正 郎
 事務局長 鈴木 寶 雄
 局長 鈴木 寶 雄
 (毎日午前八時より午後十時迄診察)
 病室完備 入院隨意

煙突は 朝日
 石綿セメント 朝日煙突
 煙突は 朝日
 石綿セメント 朝日煙突
 煙突は 朝日
 石綿セメント 朝日煙突

耳鼻咽喉科専門
 醫學士 鈴木 正 男
 入院應需 鈴木 寶 雄
 平町藤田(電話五八八番)藤田女學校前

石炭 平町郵便局通り
 コークス
 炭
水野石炭店
 電話二九八番

東神火災保險株式會社
 東京火災保險株式會社
 廣済生命保險株式會社
磐城代理店
 河田鐵工場
 福島縣平町七丁目
 電話三三九番 二九八番
 東京市日本橋通り三丁目
 仙臺市大町三丁目

藤沼醫院
 電話五〇七番
 店主が店員を連れて行く
 正し 正し 正し きれ きれ きれ
 しい しい しい 酒場 喫茶 食堂
 レストランサロン
 平町 電話三六二

内科 小兒科
 外科 花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 平町藤田 電話五二三番
高久病院
 院長 醫學士 高久 忠

開業
 一、齒科 一般
 一、保存科 補綴科 齒槽外科
 一、口腔外科
 一、レントゲン科
中野齒科醫院
 院長 醫學士 中野 惠 次
 日本齒科 醫學士 西 川 誠
 平町藤田(松月堂向ひ) 電話五〇九番